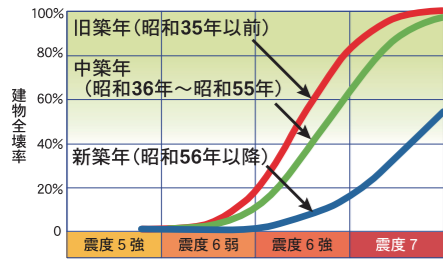


地域危険度マップ(建物全壊率)(南海トラフの巨大地震, M9.0)

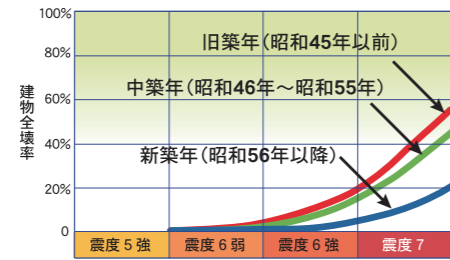
この「地域危険度マップ(建物全壊率)」は、南海トラフの巨大地震(M9.0)が発生した場合に想定される建物全壊率を予測したものです。建物全壊率は、地震時の揺れの大きさと、地域ごとの構造別・建築年代別の建物の割合から想定しました。

地域の建物全壊率は、下図に示す地震時の揺れの大きさと建物全壊率の関係から、地区内で想定される全壊建物の割合を算定したものです。建物の耐震性は、構造や建築年代により異なります。特に、昭和55年以前の旧耐震と呼ばれる建物は、建物全壊率が大きくなります。

○木造の建物



○鉄筋コンクリート造など非木造の建物



※岐阜県「平成23~24年度 岐阜県南海トラフの巨大地震等被害想定調査 報告書」より作成

可児市の地域危険度

可児市では、南海トラフの巨大地震(M9.0)が発生した場合、一部の丘陵地を除いて震度6弱の揺れが予測されます。

地震による大きな揺れが発生すると、耐震性の低い建物は被害を受けやすく、このような建物が多い地域では、倒壊した建物やガレキの飛散などにより地域危険度が大きくなります。

